

## 令和7年度指定管理者評価シート

### 1. 管理運営の状況等

(1)施設名	秋葉の森総合公園・周辺の無料公園
(2)施設概要	<p>1. 秋葉の森総合公園</p> <p>①所在地: 西区大字中釘1241-1</p> <p>②施設の設置目的: 都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、自然的環境の保全、遊戯、運動等総合的な利用に供するため</p> <p>③施設の概要: 面積10.00ha (主な施設)サッカー場 多目的広場 自然保護ゾーン、野外施設(バーベキュー場) 管理棟他</p> <p>2. 周辺の無料公園</p> <p>①所在地: 西区地内</p> <p>②施設の設置目的: 住民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等レクリエーションの場及び自然的環境の保全、改善、景観の向上を図るため</p> <p>③施設の概要: 広場、植栽、ベンチ、遊具 他</p>
(3)指定管理者	株式会社 ワールドインテック
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和6年度 113,850千円、令和7年度119,281千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <p>秋葉の森総合公園 ※( )内は前年実績</p> <p>1. サッカー場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 9,545人(11,281人)</li> <li>・稼働率 27.8%(19.7%)</li> </ul> <p>2. 野外施設(バーベキュー場)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 2,194人(2,889人)</li> <li>・稼働率 21.9%(20.7%)</li> </ul> <p>3. 多目的広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数 4,010人(8,167人)</li> <li>・稼働率 40.5%(46.4%)</li> </ul> <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設維持管理業務</li> <li>・利用者受付業務</li> <li>・公共施設予約システムによる貸出業務</li> <li>・自然保護ゾーンにおける自然保全業務</li> <li>・広報業務</li> <li>・その他業務仕様書及び事業計画書による業務</li> </ul> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>◇保守管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー場、多目的広場、野外施設、管理棟(更衣室、会議室等) トイレ、遊具、砂場等</li> </ul> <p>◇日常清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟、トイレ、園内、園周辺等</li> </ul> <p>◇定期清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟、浄化槽、受水槽、園内等</li> </ul> <p>◇植栽管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低木、中木、高木、特殊高木、生垣等剪定業務、花壇管理 除草業務等</li> </ul> <p>③その他の業務③その他の業務</p> <p>◇協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然保全活動(公益財団法人埼玉県生態系保護協会大宮支部／秋葉の森総合公園) 自然保護ゾーンにおける維持管理業務、保全活動、教育普及活動全般</li> <li>・地域団体(企業等)による地域社会貢献活動(株式会社埼玉トヨタレンタリース、武蔵野ベアーズ、公益財団法人埼玉県生態系保護協会／秋葉の森総合公園)</li> <li>・地域希少生物種(ニホンアカガエル)の繁殖のための環境整備</li> <li>・市内小学校における授業の実施(指扇北小学校／秋葉の森総合公園) チャレンジスクール授業の実施</li> </ul>

- ◇自主事業
- 1, 物品販売
  - ・バーベキュー関連物品(炭、網、着火剤等)
- 2, 物品レンタル
  - ・バーベキュー関連物品(パラソル、イス等)
- 3, 各種教室、イベント等
  - ・秋葉の森総合公園
  - 「夏祭り」
  - 「自然観察会」
  - 「秋葉の森アウトドアフェスタ」
  - 「クリスマス ワークショップ」
  - 「ふれあい動物園」
  - 「火起こし体験」
  - 「天然芝サッカー場体験」
- 4, 利用者の利便性を高めるための収益事業
  - ・清涼飲料水の自動販売機の設置(秋葉の森総合公園 4台)
  - ・キッチンカーの出店(秋葉の森総合公園 のべ6台)

(6) 収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	1,240千円	(1,181千円)	人件費	52,736千円	(36,490千円)
	指定管理料	119,281千円	(11,385千円)	事務費	26,866千円	(41,201千円)
				施設管理費	41,075千円	(37,371千円)
	<b>【自主事業】</b>					
	収入	1,011千円	(794千円)	支出	1,012千円	(737千円)

- (7) 利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応
- 秋葉の森総合公園に関する以下の意見に対して実現に向けて具体的に実施、計画を推進した。
- ①多目的広場で自由に遊べるようにしてほしい(昨年度からの計画に基づき実施)  
多目的広場の一般開放を6/14に開催。天然芝のサッカー場とともに一般開放し利用者に喜んでいただけた。
  - ②自動販売機を増やしてほしい(昨年度からの計画に基づき実施)  
アイスの自動販売機を7月に2台設置。熱中症対策に一躍かっている。バーベキュー利用者にも大変喜ばれている状況。イベント時、週末には売り切れるほどの大人気となった。
  - ③バーベキュー用品のレンタル・販売を希望(昨年度からの計画に基づき実施)  
バーベキュー関連物品の販売・レンタル品の内容を一新し価格も改訂。パラソルしかなかった日よけも簡易テントをお貸しすることで暑さ対策に貢献できた。
  - ④家族でできるイベントが多いとうれしいです。  
秋葉の森でしかできないイベントを創出。  
10/5「アウトドアフェスタ」では火起こし棒やファイヤースターターを使い火おこしを体験。焼き芋つくりやクイズラリーも開催した。2/28「はじめてのバーベキュー体験」では実施計画書にある手ぶらでバーベキューを企画。バーベキューをやったことのないご家族が60名とたくさん集まり協力し合って楽しんでいただけた。
  - ⑤子供の参加できるイベントが多くあると嬉しい。  
未就学児でも参加できるように展示室内にぬり絵を開催。ひな祭りなど季節感のある伝統文化を感じるコンテンツとした。いつ来ても何か企画がある演出を心掛けた。6月には「七夕短冊に願い事」を書いてもらい七夕明けには西区秋葉神社に奉納し祈願。地域連携を図る。8月は「夏フェス」9月には「秋フェス」でミニ縁日を開催。たくさんの近隣の方が来ていただけるイベントと成長した。
  - ⑥動物ふれあいイベントの開催をしてもらいたい。  
11/23「ふれあい動物園」を開催。埼玉動物海洋専門学校の井守校長先生とも交友関係ができ毎年開催に協力していただけるように要請。昨年は收拾がつかず順番待ち、長い待ち時間でうまく運営できなかった反省から入口の入場を整理して混雑防止や事故防止に努めた。お待ちいただく時間を使い秋葉の森総合公園の紹介をしたイベントの告知の動画を上映、秋葉の森クイズなどで飽きさせない工夫をした。
  - ⑦初めてワークショップに参加しました。学びがあってリース作りも楽しくまたこのようなイベントに参加したい親子を対象に(11/30)「親子で楽しむクリスマスリース作り」開催。今回は専門家から学ぶ時間を設定。30分ほどスライドや映像を使い分かりやすく学習する時間を設けた。公園内の木の枝を使いさいたまG8大崎公園の羊の羊毛を使用しリユースやSDGzを簡単に学べる内容とした。親子で楽しめる内容で満足度が高いイベントだった。
  - ⑧自然ふれあいイベントがあると嬉しい。  
9/20、10/18と二回に開催。生き物に詳しい職員を配置し昆虫や魚、鳥について学び秋葉の森の特性に特化したコンテンツとした。専門家にも参加を依頼し3名から5名ほどが子供たちの質問に答えほのぼのとしたイベントとなった。大変人気が高くR8年度はさらに多くの開催する予定としている。

(8) その他

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
自社職員による維持管理、清掃、修繕等業務の実施(市民サービスの向上・指定管理経費の縮減への取組)	清掃業務の8割、除草業務の9割以上、植栽管理業務の4割、修繕(小規模に限る)の5割を自社職員による直接業務により実施した。
全ての一般利用者が平等に施設を利用できるようにベビーカー・車いす置き場を明確にする(市民サービスの向上、平等性の確保への取組)	秋葉の森総合公園管理棟に地図を配置。公園内の案内板等を整備した。掲示ボードを修理。イベントや公園情報の広報に活用した。
情報提供コーナーの設置(地域・住民との連携)	秋葉の森総合公園管理棟入口ホール受付窓口前の「地域情報コーナー」を展示室に移動。新たに秋葉の森総合公園の自然、サッカー場、バーベキュー、西区の情報コーナーを設置した。休憩をしながら秋葉の森総合公園を知ってもらう場所としてリニューアルした。
賑わい創出のための各種イベント、教室等の実施(市民の憩いの場の提供、賑わいの創出)	<p>秋葉の森総合公園で実施したイベント・教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉の森の竹を使ったワークショップ</li> <li>・天然芝のサッカー場体験</li> <li>・七夕かざり</li> <li>・竹キャンドルづくり</li> <li>・夏フェス</li> <li>・秋フェス</li> <li>・自然観察会①</li> <li>・自然観察会②</li> <li>・秋葉の森アウトドアフェスタ</li> <li>・ふれあい動物園</li> <li>・クリスマス ワークショップ</li> <li>・新年書き初め会</li> <li>・ひな祭り</li> <li>・はじめてのバーベキュー体験</li> </ul> <p>秋葉の森総合公園で実施した賑わい創出のための事業(日常的な開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「シャボン玉遊び」気軽にシャボン玉遊びができる場所を設置</li> <li>・「清涼水遊び」猛暑日等に水鉄砲等の水遊びができる場所を設置</li> <li>・秋葉の森の生き物ぬりえ</li> </ul> <p>地域連携の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西区の自治会にご挨拶回りの実施</li> <li>・エリア指扇北小学校、指扇小学校に月一度訪問広報活動</li> <li>・秋葉神社イベント情報の共有</li> <li>・指扇、西大宮駅周辺幼稚園、保育園役20施設表敬訪問、広報活動</li> <li>・西区コミュニティー課広報</li> </ul>
HP、SNSでの情報発信の充実(市民サービスの向上、施設利用の促進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉の森インスタグラムを新規に開設、イベントの広報告知に活用</li> </ul> <p>HP、SNSにおいて以下の情報を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バーベキュー場の予約状況(空き情報)</li> <li>・その他公園の除草業務予定日</li> <li>・実施イベント、教室の開催情報、実施当日の会場の状況を発信</li> <li>・キッチンカー状況。</li> </ul>
危機管理体制の強化	<p>緊急時対応マニュアルを整備して危機管理体制を整備した。</p> <p>強風、大雨、落雷時には、緊急巡回点検を行った。</p> <p>安全衛生委員会を設置し、利用者、及び、職員の安全確保に努めた。</p>

## 3. 評価

(1) 指定管理者による評価

<p>①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全な公園のサービスを提供すべく、清掃等を直接雇用職員にておこなった。</li> </ul> <p>その結果、委託業者へ頼らない即対応が実現。近隣住民や自治会等との連携が直接即実行でき、きめ細かいサービスの向上につながった。また、自治会関係者や会長と対面で話す機会も増え、信頼関係の構築にも効果があり、市民に寄り添った管理運営、積極的な協働活動を実施できる体制ができてきた。秋葉の森のイベントチラシの掲示や回覧板にもご協力いただきいい関係が少しずつだが実現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉の森総合公園でのイベントを積極的に実施し、その結果、秋葉の森総合公園の認知度を上げ、1年を通して賑わいのある公園づくりを行うことができた。またイベントにBBQの利用登録につながる要素を加えたり、火起こし体験や焼き芋体験などで秋葉の森イコールBBQのイメージ戦略を駆使して、登録数を伸ばした。秋葉の森ならではの自然の素材を生かしたSDGsイベントも大盛況開催できた。</li> <li>・障害者雇用に積極的に取り組み昨年度2名、今年度さらに1名合計を雇用した。現在3名勤務。</li> <li>・指北小とのチャレンジスクール課外活動にも取り組みBBQを使った69名の参加者からはまた来年も是非のお声をいただいた。年度終わりに指北小より正式にR8年度は11月開催を依頼された。</li> </ul> <p>②経費の削減について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務委託に頼らない、直接雇用職員による清掃・除草作業等に取り組んだ。</li> <li>また職員によるマルチタスク化で人件費圧縮にも取り組んだ。</li> <li>・社内決済ルールにのっとり、適正な費用管理を実施した。</li> <li>委託業務等に関しては複数社からの見積もり合わせを実施した。</li> <li>・民間会社の利点を生かし、創意工夫でお金をかけずに対応できることを実践した。</li> </ul>
---

③適正な管理運営の確保について

- ・定期的なスタッフミーティングによる情報共有を図り、苦情・要望に丁寧に対応した。
- ・一時対応は直接雇用職員にておこない、迅速な対応をこころがけた。
- ・社内で立ち上げた安全衛生委員会で、月1回のミーティングを実施した。  
業務の危機管理意識の向上につなげ、事故防止をおこなった。
- ・公園遊具、設備等の安全点検においては、専門者による定期点検を行うとともに、直接雇用職員による直接業務の利点を生かし、職員による毎週の点検を実施し、安全の確保に努めた。
- ・強風による倒木、落枝が多発したが、迅速な巡回等により早期の対応を行った。また、危険性の高い樹木等においては、危険防止の観点から、適切な剪定、伐採等の処置を行うことにより事故を未然に防ぐよう努めた。

「その他」

- ・SDGs促進のための以下の事業を5回ほど実施した。  
公園管理で出た枝、草、竹、どんぐり等を使った工作等ワークショップの開催(課外活動協力)した。  
公園管理で出た枝を使って作成した薪をイベントで使用した。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:都市局みどり公園推進部北部公園整備課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・小規模な公園が多く、地域住民も小規模なイベントを楽しみにしている。その特性や利用者の希望に合わせたイベントを開催している。
- ・自治会や学校との交流も積極的に行っている。特に、イベント時などで自治会員と接触し、適切なタイミングで公園の維持、管理、運営にも参加を促している。
- ・業務委託に頼らない雇用職員による清掃・除草作業に取り組み、経費削減に繋げている。清掃において、地域住民及び市職員と話し合いながら、問題点を共有し解決に導いている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・実施した業務の事務書類や成果品等については、適切に保管すること。
- ・金額の大小にかかわらず、契約書・請書等を交わし、契約関係を明確にすること。